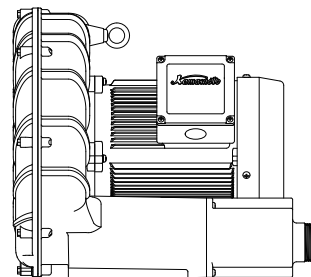


# オメガブロー RA形 取扱説明書



このたびは、オメガブローをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前に取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。取扱説明書には危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されております。

また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## < 目 次 >

1	はじめにご確認ください・・・	2	6	電気工事	8
2	仕 様	2	7	運 転	10
3	製品の構成	5	8	保守・点検	12
4	据 付	6	9	故障の原因と対策	13
5	配 管	7	10	廃 棄	14

## ⚠️ 特に注意していただきたいこと

1. 修理技術者以外の方は、分解したり修理や改造を行わないでください。修理に不備があると、感電や火災などの原因になります。
2. 点検・交換の際は、必ず電源を遮断して作業を実施してください。漏電・感電やけがの恐れがあります。
3. 接地工事は通電前に必ず行ってください。アース線を確実に取り付けないで運転すると故障、漏電・感電・火災の原因になります。
4. 運転中ブロー、モータ及び吐出し空気に触れないでください。高温になっている場合がありますので、火傷をする恐れがあります。

適用範囲外での使用、注意書きなどの不遵守、不当な修理・改造、天災地変に起因するもの、設置環境（電源異常・異物など）によるもの、法令・省令またはそれに準じる基準などに不適合のもの、不慮・故意による故障・損傷のもの、消耗部品の交換、転売による不具合などは保証対象外となる場合があります。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠️ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠️ 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

## 1 はじめにご確認ください

製品がお手元に届きましたら、下記項目を調べ、不具合な点がございましたら、お手数でもご購入先へご連絡ください。

### ▲ 注意

- 天地を確認の上、注意して開梱してください。けがをする恐れがあります。
- 包装用のバンドがある場合、バンドを持って荷扱いしないでください。バンドが切れけがをする恐れがあります。
- この商品は重心が偏っています。不用意に持ち上げると腰を痛めることがあります。

- ・ ご注文どおりの製品か、銘板を見てご確認ください。  
(形式、定格出力、定格電圧、周波数など)
- ・ 輸送中に破損した箇所や、ボルト、ナットなどのゆるみはないか、ご確認ください。
- ・ ご注文の製品の付属品がすべて入っているか、ご確認ください。
- ・ 弊社にお問い合わせの際は『形式』及び『製造番号』をご確認ください。

## 2 仕様

### ▲ 注意

- 決められた製品仕様以外では使用しないでください。感電や火災などの原因になります。
- 本ブロワは、一般産業用として製作したものであり、吐出し空気はクリーン度が要求される用途（食品、薬品、半導体用途等）では直接使用しないで下さい。
- 用途に合った商品をお選びください。不適切な用途で使うと事故の原因になります。
- 危険・警告・注意ラベル類には人身への危害または財産への損害を引き起こす可能性のある事項が記載してありますので必ず遵守ください。守らないと機器が故障したり感電、火災、けがなどの原因になります。
- 仕様気質として記載のない気体などには使用しないでください。ブロワが故障し、漏電・感電・火災の原因になります。

### 2. 1 全機種共通

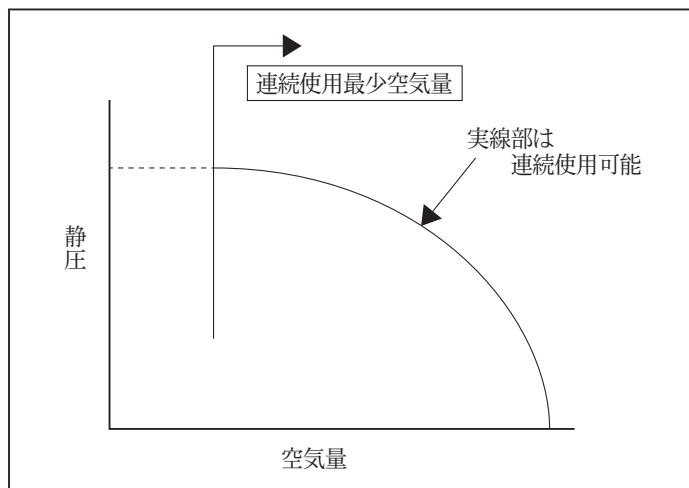
輸送気体	気質	一般空気（爆発性・腐食ガスを含まないこと）
	温度	-10～40℃
	湿度	85%RH以下（結露なきこと）
設置場所		屋内 標高1000m以下 爆発性ガス、蒸気のある場所は使用不可
	周囲温度	-10～40℃（密閉された室内および、ケース内での使用は出来ません）
	湿度	85%RH以下（結露なきこと）
設置条件		横置きおよび、ブロワ部下向き（4. 1項をご参照ください）
吐出し連続使用最少空気量		吐出し側は最少空気量以上で使用ください（2. 2項をご参照ください）
モータ	種類	全閉外扇屋内形
	相	3相
電源電圧	200V級	50Hz：200V 60Hz：200-220-230V
	400V級	50Hz：380-400V 60Hz：400-440-460V

## 2. 2 機種別

形 式	RA40A (T4)		RA50A (T4)		RA60A (T4)	
出力 [kW]	0.75		1.5		3.7	
周波数 [Hz] ※1	50	60	50	60	50	60
定格電圧 [V] ※2	200	200	200	200	200	200
		220		220		220
—	—	230	—	230	—	230
		—		—		—
定格電流 [A]	3.1	3.9	5.5	7.5	9.7	12.9
		3.6		7.1		12.3
—	—	3.6	—	6.9	—	12.1
		—		—		—
サーマル設定推奨値 [A]	3.3	4.1	5.8	7.9	10.2	13.6
定格電圧 [V] ※2 (形式末尾T4の時)	380	400	380	400	380	400
		440		440		440
—	—	460	—	460	—	460
		—		—		—
定格電流 [A] (形式末尾T4の時)	1.5	2	2.7	3.8	4.7	6.4
		1.6		1.8		3.6
—	—	1.8	—	3.5	—	6
		—		—		—
サーマル設定推奨値 [A] (形式末尾T4の時)	1.7	2.1	2.9	4	5.2	6.8
空気量 [m <sup>3</sup> /min]	1.6	2	2.5	3.15	3.15	4
静圧 [kPa]	6.2	7.8	7.2	8.8	9.8	12
吐出し連続使用最少空気量 [m <sup>3</sup> /min] ※3	0	0.1	0.2	1.3	0.8	1.6
吸込連続使用最少空気量 [m <sup>3</sup> /min]	0	0	0	0	0	0
概略質量 [kg]	22.5		31		43	

※1：周波数変動は-5～+3%範囲内で運転してください。 ※2：電圧変動は±10%範囲内で運転してください。

※3：吐出し連続使用最少空気量

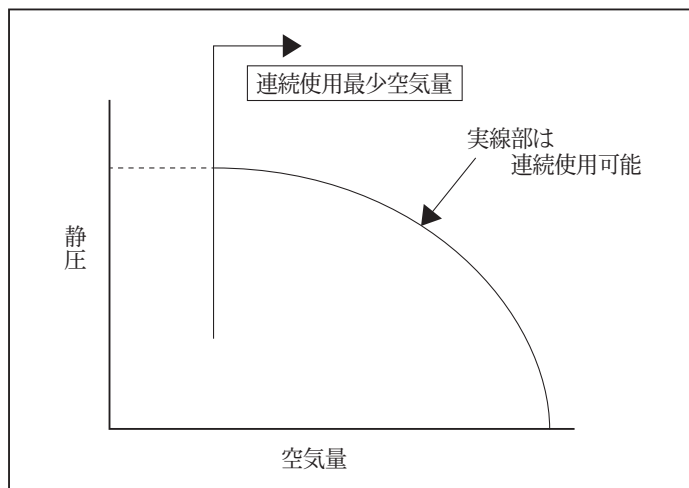


2. 3 機種別（プレミアム効率（IE3）モータ（トップランナー基準適合））

形 式	RA40AE(T4)		RA50AE(T4)		RA60AE(T4)			
出力 [kW]	0.75		1.5		3.7			
周波数 [Hz] ※1	50	60	50	60	50	60		
定格電圧 [V] ※2	200	200	200	200	200	200		
		230		230		230		
定格電流 [A]	2.6	3.6	5.9	7.9	10	13		
		3.4		7.4		12.3		
		3.3		7.4		12		
サーマル設定推奨値 [A]	2.8	3.8	6.2	8.3	10.5	13.7		
定格電圧 [V] ※2 (形式末尾T4の時)	380 400	400 440 460	380 400	400 440 460	380 400	400 440 460		
		1.8		2.9		4	4.9	6.5
		1.7		3		3.7	5	6.2
定格電流 [A] (形式末尾T4の時)	1.3 1.3	1.7	3	3.7	5	6		
		1.7		3.7		6		
サーマル設定推奨値 [A] (形式末尾T4の時)	1.4	1.9	3.1	4.2	5.3	6.9		
空気量 [m <sup>3</sup> /min]	1.6	2	2.5	3.15	3.15	4		
静圧 [kPa]	6.2	7.8	7.2	8.8	9.8	12		
吐出し連続使用最少空気量 [m <sup>3</sup> /min] ※3	0	0.1	0.2	1.3	0.8	1.6		
吸込連続使用最少空気量 [m <sup>3</sup> /min]	0	0	0	0	0	0		
概略質量 [kg]	22.5		33		48			

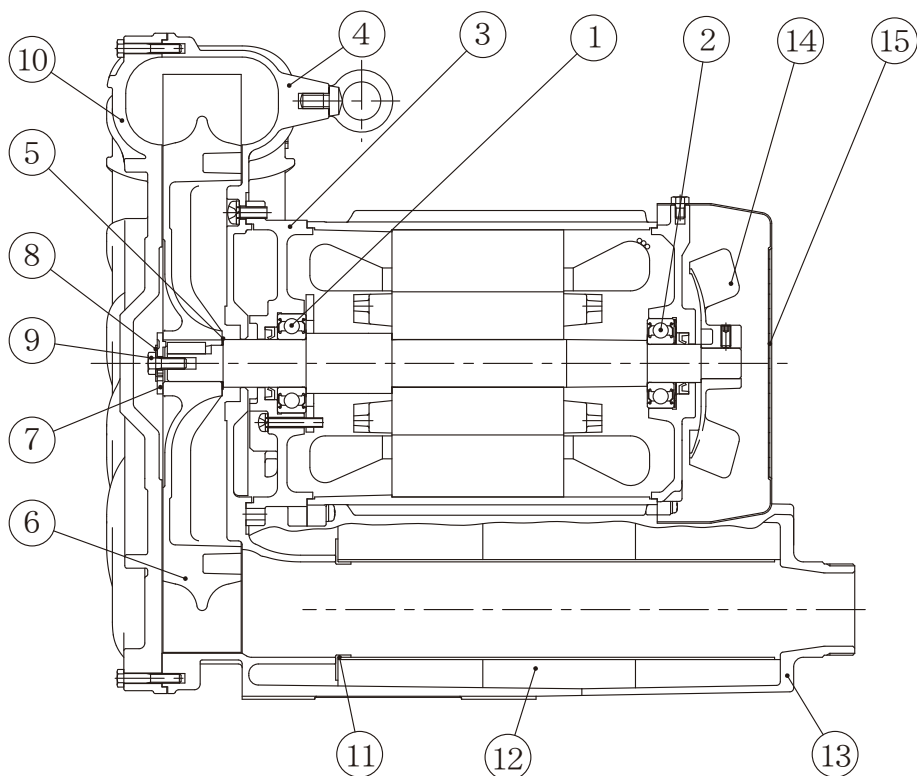
※1：周波数変動は-5～+3%範囲内で運転してください。 ※2：電圧変動は±10%範囲内で運転してください。

※3：吐出し連続使用最少空気量



### 3 製品の構成

#### 3.1 構造図 RA50A(T4)



本図は、代表機種を示します。機種によっては図と多少異なるものもあります。

No	名称	材料	No	名称	材料
1	玉軸受	—	11	支え	SPCC
2	玉軸受	—	12	吸音材	PUR
3	モータブラケット	FC200	13	ケースカバー	ADC12
4	ケーシング	ADC12	14	ファン	PA
5	シム	C2801P	15	ファンカバー	SPCC
6	インペラ	ADC12			
7	インペラ座金	SPCC			
8	外つめ付座金	SPCC			
9	ボルト	SWRM			
10	ケーシングカバー	FCD500			

(注) 仕様、構造などは予告なく変更する場合があります。

#### 3.2 標準付属品

部品名	数量
取扱説明書	1

#### 3.3 特別付属品

部品名	備考
エアフィルタ RAF40	RA40、50用
エアフィルタ RAF60	RA60用

## 4 据 付

### ▲ 警 告

- 荷下ろし、搬入、据付で本製品を吊り下げる場合は、カタログ、据付図、取扱説明書などに従って製品の質量や吊り方を確認し、正しく行ってください。また、吊り具の定格荷重以上の製品は吊らないでください。吊り下げが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。
- 据付は本書に従って確実に行ってください。据付が不完全な場合、漏電・感電や火災、落下・転倒によるけがの恐れがあります。またブロワの振動の原因になります。
- 爆発性雰囲気中では使用しないでください。火災の恐れがあります。
- 適用される法規定（電気設備技術基準・内線規程など）に従って施工してください。法規定に反するだけでなく感電・火災、落下・転倒によるけがなどの原因になります。
- 機器の寿命を考慮し、設置は風通しがよく、ほこり、腐食性及び爆発性ガス、塩分、湿気、蒸気、結露などがなく、風雨、直射日光の当たらない所を選んでください。悪環境下では、モータ・制御盤の絶縁低下などにより、漏電・感電・火災の原因になります。

### ▲ 注 意

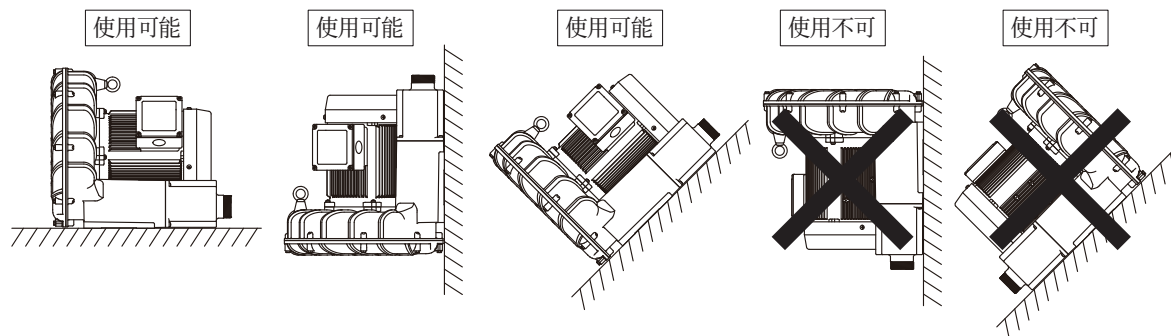
- 機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有害ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する場所またはほこりの多い場所には設置しないでください。漏電や火災の原因になることがあります。
- 開口部（ファンカバー、吐出し口、吸込口など）に異物や指を入れないでください。けがや破損の恐れがあります。
- 周囲にモータ冷却の通風を妨げるような障害物がある場所に設置しないでください。破損・焼損や火災の原因になります。
- 電源ケーブルや制御線を同一管内またはダクト内に併設させないでください。本製品や他の機器が誤動作する恐れがあります。
- 配管のねじ部にはシーリング剤を使用して、確実に締めてください。空気漏れの原因になります。
- 機器に衝撃を与えたり、転倒させないでください。破損する恐れがあります。
- 据付、点検などの作業を行う前に、周辺を整理してください。滑ったり、つまずいたりして、けがをする恐れがあります。
- 万一のブロワの停止に備えブロワの予備機を準備してください。ブロワの故障により、設備が停止する恐れがあります。
- 機器の上に物を載せたり、人が乗ったりしないでください。機器の破損や転倒してけがをする恐れがあります。
- 標高1000m以下の場所に設置してください。やむをえず、標高1000mを超える場所に設置する場合は、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 端子箱カバーは、手指の挟みに注意して取り付けてください。手指にけがをする恐れがあります。
- 製品を包装しているビニール袋をかぶらないでください。窒息の恐れがあります。

#### 4. 1 据付

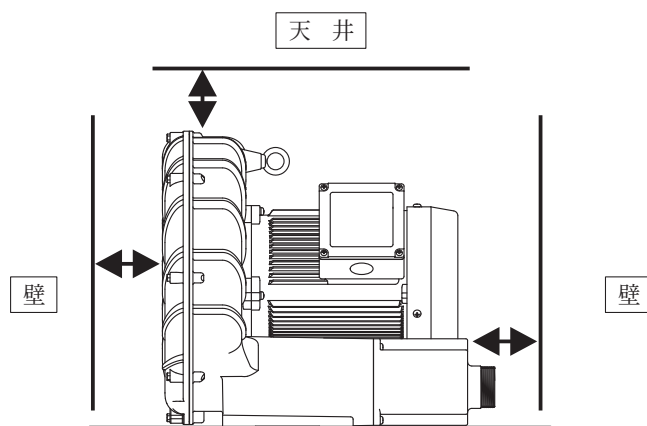
1. 据付には以下の場所をお選びください。

- ・凹凸のない水平で丈夫な場所
- ・風通しがよく、直射日光の当たらない場所
- ・モータの周囲温度が40℃を超えない場所
- ・保守・点検に便利な場所（狭い場所は避けてください。）
- ・製品の銘板が良く読める場所（銘板は取り外さないでください。）

2. 据付の方向



3. 本体を壁、天井から30mm以上離して据付してください。



## 5 配管

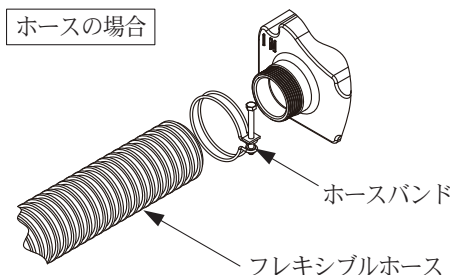
#### 5. 1 電源

1. 配管の荷重が直接ブロワにかからないように配管支えを設置してください。
2. 配管は下記のようにしてください。

- ・できるだけ短く、太くする
- ・エルボ等の曲がりやチーズ等の分岐を少なくする
- ・バルブ類などの障害物を少なくする

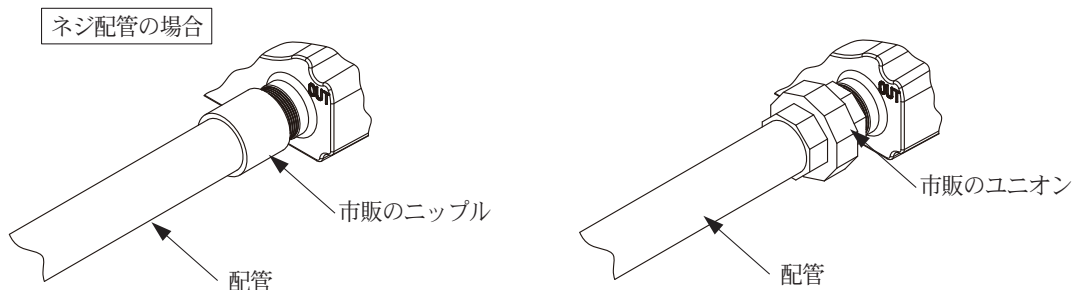
(注) 配管が長かったり細かったり曲がりや障害物が多かったりすると、静圧、空気量が少なくなります。

### 3. 接続の方法



ホースはブロワの圧力に耐え、耐久性の高いものを使用してください。

吐出し側は使用空気量によって温度が高温になりますので、金属製、もしくは耐熱温度の高いものを使用してください。



配管の自重や外部からの荷重がブロワ接続部へ掛からないように配管を吊り金具や受け台等で固定してください。

## 6 電気工事

### ▲ 警 告

- 電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」に従い専門技術者により確実に施工してください。配線、接続に不備があると、故障・漏電・感電・火災の原因になります。
- 接地工事は通電前に必ず行ってください。アース線を確実に取り付けないで運転すると故障、漏電・感電・火災の原因になります。
- 電源投入前に配線接続部・結線部が緩んだり外れたりしていないか、確認してください。一箇所でも緩んだり外れたりしていると、火災・感電の原因となります。
- 配線接続部・結線部・端子部などのほこりを除去してください。ほこりの付着などを放置すると発熱し、火災の原因になります。
- 配線作業などで取り外した端子箱カバーは必ず元通りに取り付けしてください。感電やけがの恐れがあります。



## ▲ 注 意

- 端子箱の電源ケーブル引出口から端子箱内に切削粉や使用液などが浸入しないように、防塵、防滴処理を施してください。感電や火災の原因になります。
- 結線は、取扱説明書や端子箱内の結線図に従って施工してください。配線を誤ると感電や火災などの原因になります。
- 電源ケーブルや制御線を同一管内またはダクト内に併設させないでください。本製品や他の機器が誤動作する恐れがあります。

6. 1 モータの端子数は3本（U、V、W）です。端子の接続は端子記号に従って電源へ確実に接続してください。

3本リード : 直入始動



端子ねじの呼び	(参考) 締付けトルク
M4	1.3 [N・m]

6. 2 接地端子はモータの端子箱内に⊥マークで表示していますので、必ず接地工事を行ってください。

アースねじの呼び	(参考) 締付けトルク	接地工事の種類	
M4	1.3 [N・m]	定格電圧	200 D種接地工事
アース線の色：グリーンイエロー		[V]	400 C種接地工事

6. 3 配線の太さは下表を参考にしてください。

配線の銅線太さ (参考)

定格電圧 [V]	形 式	配線の最小銅線太さ [mm]	アース線の最小銅線太さ [mm]
200 (400)	RA40A	1.6	1.6
	RA50A	1.6	1.6
	RA60A	2.0 (1.6)	2.0 (1.6)

6. 4 ブロワ設置時に、モータ用過負荷保護装置を2. 2項記載のサーマル設定推奨値を参照して屋内配線に取り付けてください。

6. 5 電圧降下が著しいと電流が増加し、モータの焼損やモータ用過負荷保護装置が作動することがありますのでご注意ください。

## ▲ 警 告

- 配線を取り付けたり取り外したりする場合、必ず電源を遮断して電気がきていないことを確認してください。感電する恐れがあります。
- モータには水をかけないでください。感電・漏電・火災や故障の原因になります。
- 運転中は吸込口に手足等を近づけないでください。吸込まれてけがをするおそれがあります。
- 製品を吊上げ状態での使用及び作業は行わないでください。落下及びけがの恐れがあります。
- 電源を投入後及び通電状態にて制御盤の充電部やモータ端子、ケーブル先端部などに触れないでください。漏電・感電・火災の原因になります。
- 停電の場合は電源スイッチを切ってください。復電時に製品及び設備機器の破損や急にブロワが運転してけがをする恐れがあります。

## ▲ 注 意

- 定格電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 運転中は回転部分に触れたり、モータの開口部に指や棒などを入れないでください。感電やけがの原因になります。
- 運転中ブロワ、モータ及び吐出し空気に触れないでください。高温になっている場合がありますので、火傷をする恐れがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は電源を遮断してください。絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。
- インバータで駆動する場合は、周波数60Hzを超えて運転しないでください。焼損や火災の原因になります。また、400V級インバータで駆動する場合は、インバータ側に抑制フィルタやリアクトルを設置してください。絶縁破壊による火災、破損の原因になります。
- 吐出し連続使用最少空気量より空気量を絞らないでください。焼損や火災の原因になります。
- ブロワの周辺に燃える恐れがあるものを置いたりかぶせたりしないでください。過熱して発火する恐れがあります。
- 長期保管後や休止後の運転開始時には、「据付」「運転」の順に従い、試運転を実施してください。固着などによるブロワ拘束、モータ焼損などの恐れがあります。
- ブロワの運転は、仕様範囲内で行ってください。仕様範囲外での運転は、ブロワの故障や事故の原因になります。
- 正規の回転方向であることを確認してください。誤った回転方向で運転すると、振動などによりボルトがゆるみ、事故の原因になります。

## 7. 1 試運転

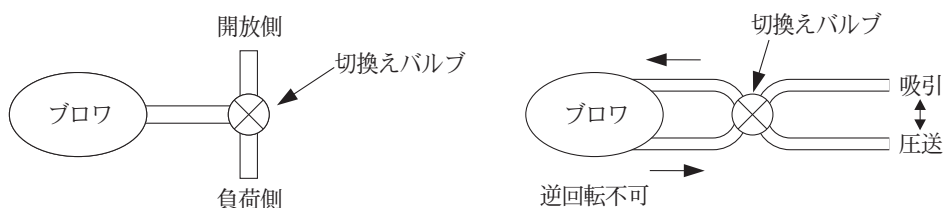
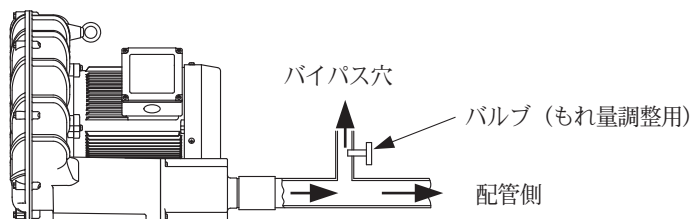
1. 漏電しゃ断器の容量および電源電圧が正しく、配線が正しく行われているかご確認ください。
2. 吸込口、吐出し口の周辺にもものが置かれていないかご確認ください。誤って異物を吸引するとブロワが破損する恐れがあります。
3. 電源を入れ、ブロワの回転方向がケーシングの矢印方向と一致するかご確認ください。逆回転の場合は、電源を切って、電源ケーブル3本の内2本を入れ替えてください。
4. 吐出し口からが空気が出ることをご確認ください。また、圧力、電流、振動、騒音等の異常がないことをご確認ください。

## 7. 2 運転

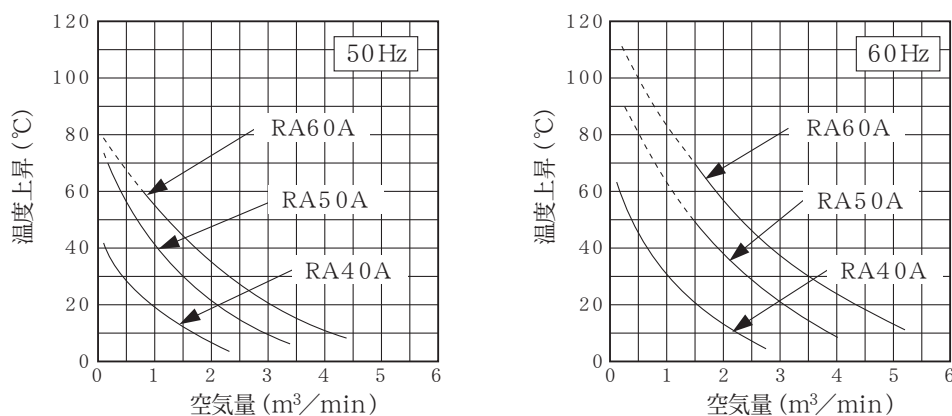
1. 吸込側で使用される場合は全機種空気量  $0\text{ m}^3/\text{min}$  (吸込全閉)での連続運転が可能です。
2. 吐出し側では2. 2項に記載されている連続使用最少空気量の範囲まで連続運転が可能です。

この範囲を超える恐れがある場合は、必ず配管の途中にバイパス穴を設けてください。

3. 空気を断続して使用される場合は、配管上の切換え弁で行うことを推奨します。モータの運転、停止により行う場合は、最大15回/時間を目安に行ってください。



4. 吐出し空気の温度は使用空気量により高くなりますので注意してください。



吐出し空気温度上昇曲線

(注1) 吸引空気の温度を足した値が吐出し空気温度となります。

(注2) ——— (実線) 部のみ連続使用が可能です。

5. インバータによる可変速運転でも、空気量の調整が自由に行えます。周波数5~60 Hz、定格電流値以下で運転してください。インバータの種類や設定によっては、モータが焼損する恐れがあります。インバータで運転する場合は、ご使用になられるインバータとブロワの適合試験を行うことをお勧めします。

## ▲ 警 告

- 動かなくなったり異常（ケーブル破れ、コゲ臭いなど）がある場合、直ちに運転を停止して電源を遮断し、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検あるいは修理を依頼してください。異常のまま運転を続けたり、修理に不備があると、漏電・感電・火災、空気漏れなどの原因になります。
- 修理技術者以外の方は、分解したり修理や改造を行わないでください。修理に不備があると、感電や火災などの原因になります。
- ブロワを移動し再設置する場合は、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご相談ください。据付に不備があると、感電や火災などの原因になります。
- 修理の際は当社純正部品を使用してください。純正部品以外を使用された場合、故障及び事故の原因になります。また、正常な機能を発揮できない恐れがあります。
- 点検・交換の際は、必ず電源を遮断して作業を実施してください。漏電・感電やけがの恐れがあります。
- モータの絶縁抵抗値が1 MΩ以下に低下した場合、すぐにご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に連絡してください。モータが焼損したり、感電や火災を起こす恐れがあります。

## ▲ 注 意

- 長期間安心して使用頂くために定期点検と日常点検両方の実施をお勧めいたします。点検を怠ると、ブロワの故障、事故などの原因になります。定期点検についてはご購入先、もしくは最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 消耗品は定期的に交換を行ってください。劣化・摩耗したまま使用になると、焼付き・破損などの事故の原因になります。定期点検、部品交換などは、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に依頼してください。
- 点検は点検項目に従って必ずおこなってください。故障を未然に防止できず、事故につながる恐れがあります。
- 長期保管後や休止後の運転開始時には、「据付」「運転」の順に従い、試運転を実施してください。固着などによるブロワ拘束、モータ焼損などの恐れがあります。
- 定期的に保護継電器の動作確認を行ってください。事故時に正常動作せず、感電や故障の恐れがあります。

下記点検項目を随時点検し、必要に応じてお手入れおよび消耗部品の交換を行ってください。

## 8. 1 日常点検

確認事項	判定基準
電流	銘板電流値以下
電圧	定格電圧の±10%以内
騒音・振動	初期より変化のないこと
モータの絶縁抵抗	1 MΩ以上あること
ブロワ部	ブロワ内部に異物が侵入していないこと、インペラの擦れ音がないこと ※異常がある場合には運転せず、分解・点検を専門業者に依頼する

異常を早く発見するには、日々の変化を知ることが大切です。そのためにも運転日誌を付けられることをお勧めします。

## 8. 2 定期点検

確認事項	内 容
モータ表面	表面に付着しているほこりや油分などの清掃を行う
ブロワ部	空気性能の低下、騒音・振動が高くないか点検を行う

製品を清掃する場合、溶剤などで中毒を起こすおそれがありますのでご注意ください。

また、シンナーやベンジンの使用は製品が変色したり塗装がはがれるなどの原因となります。

## 8. 3 消耗品：下表の部品は消耗品です。交換時の目安を参考にして部品を交換してください。

部品名	交換時の目安	状態の目安
玉軸受	2年	軸受が過熱したり、異音・異常振動が発生するとき
吸音材(標準用)	2年	騒音が高くなったり、吸音材が硬化、変形しているとき
吸音材(VC82用)	4年	騒音が高くなったり、吸音材の表面荒れが発生するとき

・日常の保守・点検において異常があれば早めに交換をお勧めします。

・吸音材は劣化により、吸音材剥離粉がブロワ2次側に排出される恐れがあります。

また、VC82用の吸音材においては、劣化に関わらず極微量の吸音材剥離粉がブロワ2次側に排出される恐れがあります。

# 9

## 故障の原因と対策

### ▲ 警 告

- 動かなくなったり異常（ケーブル破れ、コゲ臭いなど）がある場合、直ちに運転を停止して電源を遮断し、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検あるいは修理を依頼してください。異常のまま運転を続けたり、修理に不備があると、漏電・感電・火災、空気漏れなどの原因になります。
- 点検・交換の際は、必ず電源を遮断して作業を実施してください。漏電・感電やけがの恐れがあります。

下表の点検項目を実施いただいた後でも異常がある場合は、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

現象	原因	対処方法	参照ページ
ブロワが運転しない	漏電しゃ断器の電源が切れている	故障原因を取り除き、再度電源を投入する	—
	電源関係に異常がある	点検・修理する	—
	単相結線になっている	正しく結線する	9
	インペラに異物が詰まっている	専門業者に点検・修理を依頼する	—
モータは回転するが 空気の出がわるい	ブロワの回転方向が逆	結線を正しくする	9
	インペラに異物が詰まっている	専門業者に点検・修理を依頼する	—
	配管に異物が詰まっている	配管内部を点検し、異物を除去する	—
	配管部の空気もれ	配管を点検し、増し締めする	—
	部品が摩耗している	専門業者に点検・修理・交換を依頼する	—
過負荷（過電流）になる	配管の損失が大きい	配管を再検討する	—
	電圧の低下、または各相のアンバランスが大きい	電源を調べる	—
	モータの玉軸受が摩耗、または破損している	専門業者に点検・修理・交換を依頼する	—
ブロワが振動する 運転音が大きい	吐出し連続最少空気量を超えた範囲で運転している	使用空気量を再検討する	3
	据付不良	据付状態を調べる	7
	インペラに異物が詰まっている	専門業者に点検・修理を依頼する	—
	モータの玉軸受が摩耗、または破損している	専門業者に点検・修理・交換を依頼する	—

- ・故障には予想外のことがあります。異常を発見したら速やかに対策することが大切です。
- ・故障の原因が分からないときは、ご購入先、もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。ご連絡の際は、製品の形式、製造番号、故障（異常）の状況をお知らせください。

10

## 廃 棄

### ▲ 注 意

- ブロワや部品を廃却する場合は、その国（地域）の法律に従って処理してください。





コンフォート アース

Comfort Earth® 水を通じて 地球環境を 考える

株式  
会社

川本製作所

<http://www.kawamoto.co.jp>

本 社 〒460-8650 名古屋市中区大須4-1-1

☎052-251-7171 (代)

岡崎工場 〒444-8530 岡崎市橋目町御領田1

☎0564-31-4191 (代)

検査合格証

株式会社 川本製作所

検  
査

検  
査  
責  
任  
者